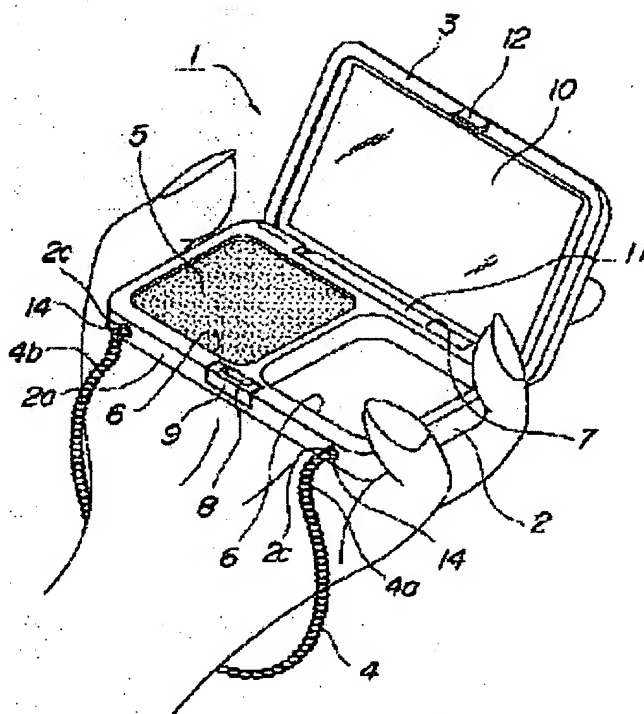


**Patent number:** JP2001197929  
**Publication date:** 2001-07-24  
**Inventor:** INOMATA MANABU; KOYAMA HIDEKI; YUZUHARA YUKITOMO  
**Applicant:** KANEBO LTD; YOSHIDA INDUSTRY CO  
**Classification:**  
- international: A45D33/00; B65D25/22  
- european:  
**Application number:** JP20000012475 20000121  
**Priority number(s):** JP20000012475 20000121

**Report a data error here**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a compact vessel 1 in which the fall of a compact is prevented to avoid the damage of the compact vessel 1 and a cosmetic material from being scattered even when a user erroneously slips her hand. **SOLUTION:** A compact vessel with a strap comprises a vessel body 2 for accommodating a cosmetic material and a cover body 3 attached thereto to be openable through a hinge part. A strap is attached at a part opposite to the hinge part on the side surface of the vessel body 2. A user inserts her hand into the strap to hold the vessel body 2 so that the fall of the compact vessel 1 is prevented.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 出願公開番号

特開2001-197929

(P2001-197929A)

(43)公開日 平成13年7月24日(2001.7.24)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テ-マ-コ-ト*(参考)
A 4 5 D 33/00	6 5 0	A 4 5 D 33/00	6 5 0 Z 3 E 0 6 2
B 6 5 D 25/22		B 6 5 D 25/22	C

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2000-12475(P2000-12475)

(22)出願日 平成12年1月21日(2000.1.21)

(71)出願人 000000952

カネボウ株式会社

東京都墨田区墨田五丁目17番4号

(71)出願人 000160223

吉田工業株式会社

東京都墨田区立花5丁目29番10号

(72)発明者 猪俣 学

神奈川県小田原市寿町5丁目3番28号 鐘

紡株式会社化粧品研究所内

(74)代理人 100066784

弁理士 中川 周吉 (外1名)

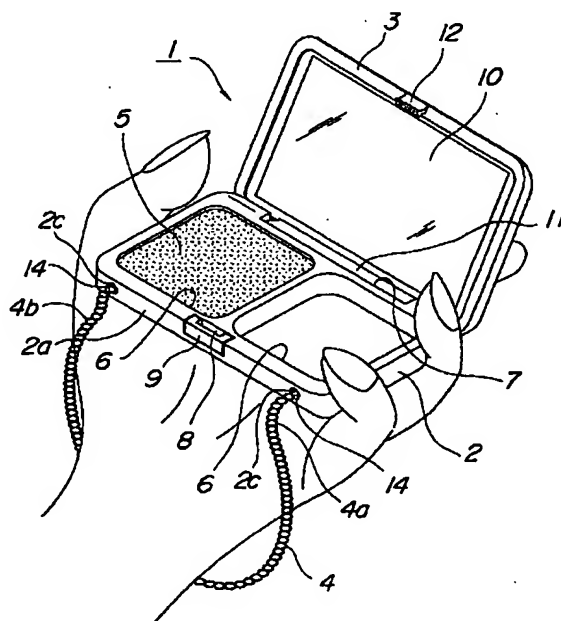
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ストラップ付コンパクト容器

(57)【要約】

【課題】 発明は、使用者が誤って手をすべらせた場合でも、コンパクトの落下を防止してコンパクト容器1の破損、化粧料の飛散を防止することができるコンパクト容器1を提供することを目的とする。

【解決手段】 本発明に係るストラップ付コンパクト容器の代表的な構成は、粧料を収納する容器本体2と蓋体3とをヒンジ部により開閉可能に取り付けてなるコンパクト容器1であって、前記容器本体2の側面であって、前記ヒンジ部の反対位置にストラップを取り付け、使用者が該ストラップに手を通して容器本体2を保持することによってコンパクト容器1の落下を防止することを特徴とした。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 化粧品を収納する容器本体と蓋体とをヒンジ部により開閉可能に取り付けてなるコンパクト容器であって、前記容器本体の側面であって、前記ヒンジ部の反対位置にストラップを取り付け、使用者が該ストラップに手を通して容器本体を保持することによってコンパクト容器の落下を防止することを特徴としたストラップ付コンパクト容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、使用時に使用者が誤って手を滑らせても落下を防止することができるストラップ付コンパクト容器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、化粧品用コンパクト容器として、上面に化粧料やパフを収納する血枠とを並べて収納できるようにした容器本体と、裏面に鏡を取り付けた蓋体とからなり、夫々の後部を回動可能に連結し、蓋体に設けられたフックを容器本体の掛止凹部に掛けて閉蓋するよう構成したもの等種々なコンパクト容器が製造され、使用されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記従来のようなコンパクト容器は、使用時、手に持って化粧を行なう際に誤って手をすべらせた場合、コンパクト容器を落下させてしまうおそれがあり、この問題に対して配慮を行なったコンパクト容器は従来、存在しなかった。

【0004】 そこで本発明は、使用者が誤って手をすべらせた場合でも、コンパクトの落下を防止してコンパクト容器の破損、化粧料の飛散を防止することができるコンパクト容器を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するために本発明に係るストラップ付コンパクト容器の代表的な構成は、粧料を収納する容器本体と蓋体とをヒンジ部により開閉可能に取り付けてなるコンパクト容器であって、前記容器本体の側面であって、前記ヒンジ部の反対位置にストラップを取り付け、使用者が該ストラップに手を通して容器本体を保持することによってコンパクト容器の落下を防止することを特徴とした。

【0006】

【発明の実施の形態】 [第一実施形態] 本発明に係るストラップ付コンパクト容器の第一実施形態について、図を用いて説明する。図 1 は第一実施形態に係るストラップ付コンパクト容器の説明図、図 2 はストラップ付コンパクト容器の蓋体を閉めた図、図 3 はストラップ取り付け部の拡大断面図である。図 1 に示すように本実施形態に係るストラップ付コンパクト容器以下、単にコンパクト容器というは化粧料を収納し、持ち運ぶためのコンパ

クト容器であって容器本体 2、蓋体 3、ストラップであるチェーン 4 から構成される。

【0007】 容器本体 2 は、内側に血枠 6 を 2 つ取り付け、周側部にヒンジ用凹部 7、掛止凹部 8、押圧ボタン 9 を設けている。血枠 6 は容器本体 2 の蓋体 3 に対向する面に設けられ、それぞれ一方に化粧料 5 を充填し、他方にパフ (不図示) を収納する。

【0008】 ヒンジ用凹部 7 は容器本体 2 の背面に形成され、掛止凹部 8 は容器本体 2 の正面 2 a に形成される。そして、かかる掛止凹部 8 内には別体である押圧ボタン 9 を摺動可能に取り付けている。

【0009】 蓋体 3 は、その内面に鏡 10 を、そして背面 2 b にヒンジ用凸部 11 を、正面 2 a にフック 12 をそれぞれ設けている。

【0010】 ヒンジ用凸部 11 は前記したヒンジ用凹部 7 に嵌め込まれ、両者の軸穴に軸 13 を通すことにより両側を容器本体 2 に支持されることとなり、蓋体 3 が容器本体 2 に対して回動可能に蝶着されている。これらヒンジ用凸部 11 とヒンジ用凹部 7 とによりヒンジ部が形成される。

【0011】 フック 12 はヒンジ用凸部 11 の反対側の正面 2 a に設けられ、蓋体 3 を閉じた際に容器本体 2 に設けられた掛止凹部 8 に掛止されて蓋体 3 を容器本体 2 に閉蓋状態でロックするようになっている (図 2 参照)。また、押圧ボタン 9 を押圧することにより掛止凹部 8 とフック 12 のロックを解除し、蓋体 3 を開くことができる。

【0012】 チェーン 4 はストラップであり、手が入る程度の輪を作るように両端を掛止凹部 8 の両側に掛け渡し、容器本体 2 に取り付けられている。すなわち、チェーン 4 は、ヒンジ用凹部 7 とヒンジ用凸部 11 により構成されるヒンジ部に対して、容器本体 2 の反対側面、すなわち正面 2 a に取り付けられるものであって、一方の端部 4 a が該側面の右側に設けられた止め具 14、他方の端部 4 b が該側面の左側に設けられた止め具 14 に取り付けられる。

【0013】 図 3 に示すように、止め具 14 は円筒部 14 a 有し、後端にフランジ部 14 b、先端にフック部 14 c を設けている。そして、円筒部 14 a は容器本体 2 の止め具用孔 2 c に嵌め込まれ、フランジ部 14 b はかかる止め具用孔 2 c の内側に引っ掛かり、また後ろを血枠 6 が位置決めするため、この止め具 14 は容器本体 2 から脱落することではなく、同時に容器本体 2 に対し回転自在に取り付けられる。このため、チェーン 4 の両端が回転し、かかるチェーン 4 のねじれを防止することができる。

【0014】 上述の如く構成したことにより、チェーン 4 と容器本体 2 との間に使用者が手を通したうえで、容器本体 2 を下から保持したまま、通常、コンパクト容器を使用するのと同じ、自然な姿勢で蓋体 3 を開くことができる。またチェーン 4 がねじれないため、手をチェーン 4 と容器本体 2 との間に容易に通すことができ、円滑

にコンパクト容器1を使用することができる。

【0015】上述の如く、容器本体2にチェーン4を取り付けて、チェーン4に手を通してコンパクト容器1を把持して化粧を行なうことにより、手を滑らせてもチェーン4がコンパクト容器1の落下を防止して化粧料5の破損、飛散を防止することができる。また、外観的にも、容器本体2の正面2aの両側に掛け渡すチェーン4が意匠上のアクセントとなり、従来のコンパクト容器と印象の異なる斬新なコンパクト容器となる。

【0016】なお、チェーン4は、例えば容器本体2内に巻取り機構を設けて一方の端部を容器本体2に巻き取り可能な構造としてもよく、かかる構造とすれば、コンパクト容器1を使用しない場合に、チェーン4がじゃまになることはない。また、さらに巻取り機構に付勢手段を取り付けて自動巻取り機能を付ければ、チェーン4を任意の長さに引き出すことができ、使用者の手に合った大きさの輪とすることができ、好適である。

【0017】また、本実施形態ではチェーン4をストラップとしたが、他に組みひもや合成樹脂等のベルトを用いることができるのはもちろんである。

【0018】[第二実施形態]次に本発明に係るストラップ付コンパクト容器の第二実施形態について図を用いて説明する。図4は第二実施形態に係るコンパクト容器の斜視図である。上記第一実施形態と同一の機能を有する部分については、同一の符号を付して説明を省略する。

【0019】図4に示すように、本実施形態に係るコンパクト容器21は、容器本体2の正面2a(すなわち、ヒンジ部が形成される背面2bの反対面)に止め具22を設けており、この部分に、環状ストラップ23を取り付けている。

【0020】この環状ストラップ23は、携帯電話用に販売されているストラップであって、使用者が手を通すことができるハンドリング部23aとこれを取り付ける係止リング部23bとから構成される。そして、係止リング部23bを前記した係止孔22内の係止バー22aにまわして、他の部分をくぐらせることにより、環状ストラップ23を容器本体2に取り付けることができる。

【0021】かかる第二実施形態のコンパクト容器21によれば、第一実施形態と同様に、使用者が環状ストラップ23に手をくぐらせたうえで容器本体2を保持することにより、使用時のコンパクト容器21の落下を防止することができる。

【0022】さらに、かかる実施形態では、環状ストラップ23を取り外し可能とし、携帯電話用に市販されている多様な環状ストラップを使用者が選択して取り付けることができるので、嗜好性に富んだコンパクト容器とすることができる。

【0023】[他の実施形態]図5に他の実施形態に係る丸い形状のストラップ付コンパクト容器の斜視図を示す。かかるコンパクト容器31は容器本体32及び蓋体33を

平面円形としたものである。チェーン34は、容器本体32の正面32a側、すなわち容器本体32の背面32bのヒンジ部(図示せず)の反対側に取り付けられている。具体的には、チェーン34の端部34a、34bは、それぞれ容器本体32の正面32aに設けられた2つの止め具35に取り付けられて、蓋体33を開閉するための押圧ボタン36の両側に取り付けられている。

【0024】このように、コンパクト容器の形状は多様なものを選択することができ、このほかに、平面楕円形や平面多角形のコンパクト容器とすることも自由である。いずれの場合も、チェーン等のストラップは容器本体の正面に取り付けられる。

【0025】

【発明の効果】以上説明したように、コンパクト容器の容器本体正面にストラップを取り付けることにより、使用中に手を滑らせてコンパクト容器を落としても、ストラップがコンパクト容器の落下を防止して、容器の破損や化粧料が飛散することを防止することができる。

【0026】また、ストラップを正面両側に掛け渡すことで、使用者に従来のコンパクト容器と異なる意匠上の印象を与え、斬新なコンパクト容器とすることもできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第一実施形態に係るストラップ付コンパクト容器の説明図である。

【図2】同ストラップ付コンパクト容器の蓋体を閉めた状態の斜視図である。

【図3】ストラップ取り付け部の拡大断面図である。

【図4】第二実施形態に係るストラップ付コンパクト容器の斜視図である。

【図5】他の実施形態に係るストラップ付コンパクト容器の斜視図である。

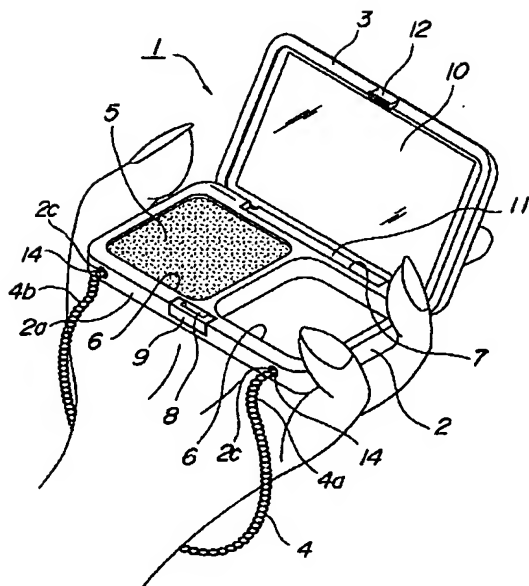
【符号の説明】

- 1, 21, 31 …コンパクト容器
- 2, 32 …容器本体
- 2a, 32a …正面
- 2b, 32b …背面
- 2c …止め具用孔
- 3, 33 …蓋体
- 4, 34 …チェーン(ストラップ)
- 4a, 4b, 34a, 34b …端部
- 5 …化粧料
- 6 …皿枠
- 7 …ヒンジ用凹部(ヒンジ部)
- 8 …掛止凹部
- 9, 36 …押圧ボタン
- 10 …鏡
- 11 …ヒンジ用凸部(ヒンジ部)
- 12 …フック
- 13 …軸(ヒンジ部)

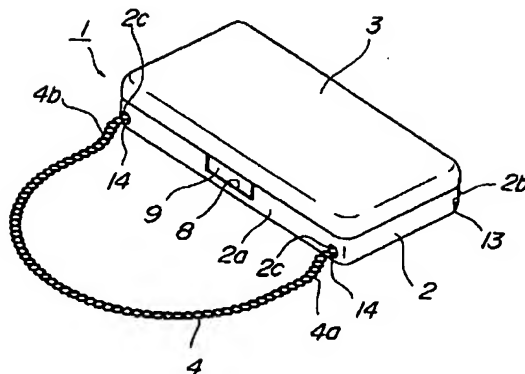
14, 35 …止め具  
14a …円筒部  
14b …フランジ部  
14c …フック部  
22 …係止孔

22a …係止バー  
23 …環状ストラップ  
23a …ハンドリング部  
23b …係止リング部

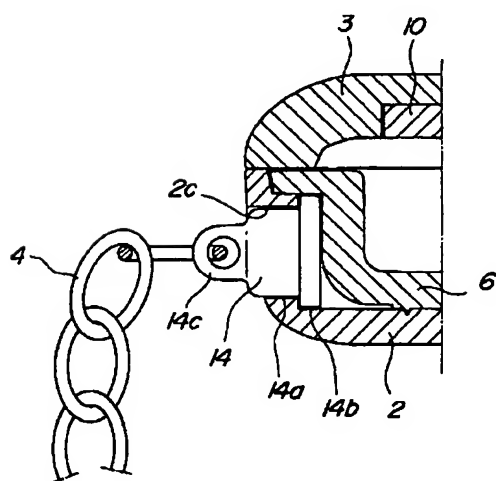
【図1】



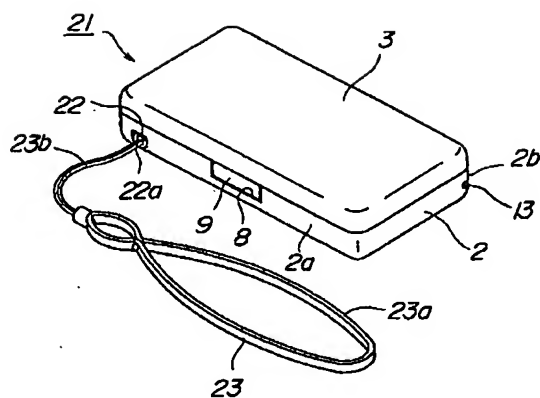
【図2】



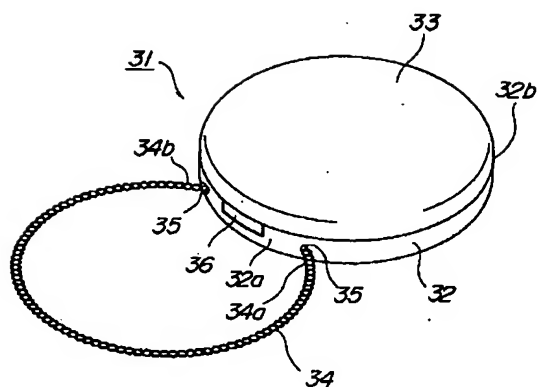
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(72)発明者 小山 秀美  
東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工  
業株式会社内

(72)発明者 柚原 幸知  
東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工  
業株式会社内

Fターム(参考) 3E062 AA20 AB08 AC01 GA02 GB02  
GC01